データ提供申請書

令和　　年　　月　　日

日本海洋生物多様性情報連携センター 代表者 殿

所属機関

役職

氏名

　　　　　　　　　　　　　　　印

私は、海洋生物多様性情報システム（Ocean Biodiversity Information System：OBIS）および日本海洋生物多様性情報連携センター（Japan Ocean Biodiversity Information System Center：J-OBIS）のデータ公開・利用に関わる下記の同意事項に承諾した上で、「生物出現記録データセット内容」に記載した生物出現記録データセットの提供を申請します。

**同意事項**

* 提供されたデータの公開に際して、問題が発生した場合においてもJ-OBISはその責任を負わないものとすること。
* 提供したデータセットのメタデータおよびそれに含まれるデータの全部もしくは一部がJ-OBIS によってOBIS、および、OBISが協力協定を結んでいる地球規模生物多様性情報機構（Global Biodiversity Information Facility：GBIF）に提供され、OBIS/GBIFのデータポリシーに従い、OBIS/GBIF上でダウンロード可能な状態で公開されること。
* 提供したデータセットのメタデータおよびそれに含まれるデータの全部もしくは一部は、海洋研究開発機構（Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology：JAMSTEC）が運用するBiological Information System for Marine Life（BISMaL）を通じて外部にダウンロード可能な状態で公開されること。
* J-OBIS および OBIS/GBIF によって公開されたデータが第三者によって利用される可能性があること。
* データ提供にあたって十分な品質管理を行うとともに、提供開始後も必要に応じてデータの追加・修正を行うこと。

生物出現記録データセット内容

・データ提供機関名 / 提供者名：

・担当者名：

・担当者連絡先（Tel）：

　　　　　 （E-mail）：

・データセット名称：

・データ概要（分類群、地理的範囲、データが得られた調査名・プロジェクト名、文献等）

・データの引用（データ利用者に対して推奨する引用方法を指定してください）

・オリジナルデータか否か

データセットの全部または一部が、既に他のデータベースで公開されている場合、あるいは、データセットに提供者（またはそのグループ等）以外が作成したデータが含まれる場合は、それらの詳細を記述してください。全てオリジナルデータの場合は「オリジナルデータ」と記述してください。

・含まれるレコードの概数：　 < 100 ・ 100–1000 ・ 1000–10000 ・ 10000 <

・外部への公開可否：　全て可 ・ 一部可 ・ 全て不可

　　公開不可の場合はその理由を記述してください

・OBIS/GBIF への提供可否：　全て可 ・ 一部可 ・ 全て不可

　　提供不可の場合はその理由を記述してください

・ライセンス：CC-0 ・ CC-BY ・ CC-BY-NC

・機関コード：

・収集品コード：

ご提出いただきました個人情報は、国立研究開発法人海洋研究開発機構個人情報保護管理規程に基づき、安全かつ適正に取り扱い、次のために利用いたします：（１）デ－タ管理のため　（２）問合せ、回答・返信等のため。

記入に際しては、別紙「生物出現記録データセット内容別紙＜記載例＞」および、「記入に関する注意事項」をご確認ください。

生物出現記録データセット内容別紙＜記載例＞

・データ提供機関名 / 提供者名注1：Japan Agency for Marine-Earth Science and Technology （海洋研究開発機構）

・担当者名注1：Taro Umino （海野　太郎）

Jiro Yamada （山田　次郎）

・担当者連絡先（Tel）：045-999-9999

　　　　　 （E-mail）：dmo@99999.go.jp

・データセット名称注1：Marine Biological Samples collected by JAMSTEC（JAMSTEC調査で採取された海洋生物サンプル）

・データ概要注1（分類群、地理的範囲、データが得られた調査名・プロジェクト名、文献等）

This dataset contains data of biological samples which were collected during scientific missions of JAMSTEC ships (NATSUSHIMA, KAIYO, YOKOSUKA, KAIREI and MIRAI) and submersibles. Data of this dataset is derived from the Marine Biological Sample Database of JAMSTEC. At the original database, you may search sample information such as number of individuals, preservation methods, sex, life stages, identification, collecting information and related literatures.

このデータセットは、独立行政法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）が所有する船舶（「なつしま」「かいよう」「よこすか」「かいれい」「みらい」）の調査・観測航海、および潜水船等の潜航にて採取した生物サンプルのデータが含まれています。このデータセットの基になっている JAMSTEC の海洋生物サンプルデータベースでは、サンプル情報（サンプル状態、固定・保存方法、性別、ライフステージなど）の他、 同定情報、採取情報、および文献情報などが閲覧可能です。

・データの引用注1（データ利用者に対して推奨する引用方法を指定してください）

Japan Agency for Marine-Science and Technology (2025 onwards).

Marine Biological Samples collected by JAMSTEC at http://www.godac.jamstec.go.jp/bio-sample/index.html. Accessed on yyyy-mm-dd.

・オリジナルデータか否か

データセットの全部または一部が、既に他のデータベースで公開されている場合、あるいは、データセットに提供者（またはそのグループ等）以外が作成したデータが含まれる場合は、それらの詳細を記述してください。全てオリジナルデータの場合は「オリジナルデータ」と記述してください。

データセットは既にhttps://www.godac.jamstec.go.jp/bio-sample/index.htmlにおいて公開されている。また、データセットの一部には、海原ら（1902）「能登半島九十九湾産貝類総覧」より著作者の許可を得て出現記録としたデータが含まれる。

・含まれるレコードの概数：　 < 100 ・ 100–1000 ・ 1000–10000 ・ 10000 <

・外部への公開可否：　全て可 ・ 一部可 ・ 全て不可

　　公開不可の場合はその理由を記述してください

すべて公開可であるが、絶滅危惧種に該当する記録については、位置情報（緯度経度の値）を5度単位に丸める変換を行った。

・OBIS への提供可否：　全て可 ・ 一部可 ・ 全て不可

　　提供不可の場合はその理由を記述してください

・ライセンス注2：CC-0 ・ CC-BY ・ CC-BY-NC

・機関コード注3： jamstec

・収集品コード注3：biological\_sample\_collection

ご提出いただきました個人情報は、国立研究開発法人海洋研究開発機構個人情報保護管理規程に基づき、安全かつ適正に取り扱い、次のために利用いたします：（１）デ－タ管理のため　（２）問合せ、回答・返信等のため。

記入に際しては、別紙「生物出現記録データセット内容別紙＜記載例＞」および、「記入に関する注意事項」をご確認ください。

記入に関する注意事項

注1：記載は英語を使用し、必要に応じて日本語を併記してください。

注2：OBIS、GBIFおよびBISMaLでデータセットを公開する際に希望するクリエイティブコモンズライセンス（CCライセンス）を選択してください。CCライセンスとは著作権の意思表示ツールの一種であり、CCライセンスを表示することで公開データセットの利用条件を示すことができます。クリエイティブコモンズのHP（http://creativecommons.org/）、およびOBISのデータポリシー（https://obis.org/manual/policy/）をご確認いただき、データセット公開後に不都合が生じないよう注意してライセンスを選択してください。選択できるCCライセンスの種類は以下の通りです：CC-0（いかなる権利も主張しない）；CC-BY（データセットの利用にあたり、著作権者の表示を要求する）；CC-BY-NC（データセットの利用にあたり、著作権者の表示を要求し、非営利目的での利用に限定する）。いずれのCCライセンスも選択しない場合は、データセットを公開できませんのでご注意ください。

注3：OBIS が採用しているデータフォーマット "Darwin Core" ではデータセットを保有する機関等を識別するための固有の文字列である機関コード（InstitutionCode）および各機関等の内部で異なる収集品やデータセットを識別するための収集品コード（CollectionCode）が必要となります。機関コードには、各機関等を識別するための標準的な文字列があればその文字列を、無い場合には略称など任意の文字列を使用できますが、既存の他の機関コードと同じものはご利用になれません（例：海洋研究開発機構の場合、英語略称である JAMSTEC を使用しています）。収集品コードは同じ機関等の中で収集品やデータセット別に異なる文字列をお使いいただく必要があります（例：魚類の収集品についてfish、相模湾のデータセットについてSAGAMIなど）。これらのコードの組み合わせでデータを管理するため、半角のアルファベット、数字、アンダーバー"\_"、ハイフン"-"の組み合わせでコードを指定してください（スペースや特殊文字等はアンダーバー"\_"に自動的に置き換えられますのでご注意ください）。使用可能文字数は機関コードと収集品コード合計で100文字までです。